

事業所防災リーダー通信2024 Vol.1

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



地域の防災訓練に参加しよう

災害が起きたら、事業所の周辺の地域はどうなるでしょうか。たとえ事業所は無事でも周辺の地域の被害が大きければ、事業継続にも支障が出るかもしれません。区市町村、自治会等の地域の防災訓練に参加することで、地域特性の理解、コミュニティの連携強化に繋がり、最終的には事業所と地域の防災力の向上に繋がります。

地域で行われている訓練に参加しよう

地域で行われている訓練の例として、初期消火訓練や身体防護訓練、救出救助訓練等があります。事業所のある地域でどのような訓練が行われているか、関心を持ち、できれば参加してみるとよいでしょう。

✓ 事業所のある区市町村や消防署の広報等を確認する

普段から広報に目を通して情報収集し、訓練に参加できるか確認しておきましょう。

✓ 普段から自治会と連絡を取り合う

企業が自治会と提携して訓練を実施したという事例もあります。事業所の規模や近隣の状況等を踏まえて検討し、近隣の自治会と相談してみてもいかがでしょうか。

✓ 消防団に入って訓練に参加する

消防団では、火災消火の基本的な操作の習得を目指すための手順、ポンプ操法の訓練を行っています。また、災害現場での後方支援や、負傷者の応急救護処置などにも対応できるよう研修会を開くなど、防火防災訓練にも力を入れています。地域と連携するにはとてもよい手段です。入団の可否や手続きなどについては、自治体や消防署に問い合わせしてみましょう。

! 救命講習を受けてみよう

東京消防庁により、AEDの使い方、心肺蘇生や止血法等を学ぶことができる救命講習が定期的開催されています。

また、スマートフォンアプリでは全国・各地のAED設置場所を確認できるものがあります。応急救命の技能を身につけるとともに、こういったアプリで地域のAED設置場所も確認しておくことで迅速な対応ができるでしょう。

令和5年度応急手当指導員再講習の日程について（東京消防庁）

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/life/kyuu-adv/life01-1.htm>



日本全国AEDマップ

App Store

Google Play

東京都からのお知らせ

東京都では一斉帰宅の抑制について、日ごろからイメージしてもらうためにガチャピンとムックがわかりやすく解説する動画を作成しました。本動画はどなたでも無料で、ご都合のよいタイミングで視聴できます。下記のリンクからアクセスしてください。

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1006183/index.html